

串本海中公園 マリンパビリオン

2026. 3

特別号 No. 17

和歌山県潮岬沖から得られた北限記録を 含む魚類 16 種の記録

大西 遼・佐久間夢実・中村公一・吉田 徹

Marine Pavillion, Supplement No. 17, 2026

Records of 16 fish species from off Cape Shionomisaki, Wakayama Prefecture,
Japan, including a northernmost record.

Ryo Onishi, Yuumi Sakuma, Koichi Nakamura and Toru Yoshida.



バラハナダイ

Odontanthias katayamai (Randall, Maugé & Plessis, 1979)

本種に紫外線ライトを照射すると体が蛍光し、非常に美しい。

串本海中公園センター

はじめに

串本海中公園センターでは1970年の開設以降、和歌山県串本町の魚類相について50年以上にわたり継続的に調査・研究を行っており、これまでにマリンパビリオンで報告された魚類の総種数は1,000種を超える(福田・御前, 1992a,b; 福田・小寺, 2019; 大西, 2024)。しかし、報告された魚類の大部分は浅海性魚類であり、これは潜水採集、海中展望塔での目視観察、定置網漁、エビ刺網漁などの浅海域を対象とした手法により得られた種が多数を占めているためである。一方で、串本沖には潮岬海底谷をはじめとする広大な深海域が広がっており、多種多様な深海性魚類が生息していると考えられる。しかし、これまで同センターにおいて水深100 m以深の魚類を対象とした体系的な調査は行われてこなかった。そこで、2025年から串本沖の水深100–200 m付近に生息する魚類を対象に採集および展示、ならびに同町の魚類相の解明を目的とした調査を行っている(大西, 2025)。

本報告では、2025年に串本沖で採集された魚類16種について報告する。なお、今回得られた魚類のうち、アヤメイズハナダイ *Plectranthias maekawa* Wada, Senou & Motomura, 2018 およびキオビズハナダイ *P. sheni* Chen & Shao, 2002 は和歌山県からの初記録となる。さらにアヤメイズハナダイは本種の本州初記録であり、分布の北限を更新する記録となるため、ここに報告する。

材料と方法

本調査の採集方法については大西(2025)を参照されたい。採集は2025年3月から4月にかけて、串本町潮岬沖(水深110–220 m)で5日間行った。採集された個体は、クーラーボックスまたは船内の生簀にて保管し、研究室に持ち帰り生鮮時の写真撮影を行なった。撮影後、10%海水ホルマリンで固定・保存した。計数・計測方法は中坊・中山(2013)にしたがった。計測はデジタルノギスを用いて0.01 mmの単位で行い、小数第2位は四捨五入した。各種の同定は主として中坊(2013)にしたがったが、アヤメイズハナダイはWada et al. (2018)と和田ほか(2020)、キオビズハナダイはChen and Shao(2002)と藤原ほか(2017, 2019)、ゲッコウスズメダイ *Chromis tingting* Tea, Gill & Senou, 2019 はTea et al. (2019)にそれぞれにしたがった。本報告における各種の掲載順と科、学名、および標準和名は本村(2026)にしたがった。本報告に用いた標本は串本海中公園センター(KMPC)に保管されている。

和歌山県潮岬沖から得られた魚類16種

ヒメ科 Aulopidae

ヒメ *Hime japonica* (Günther, 1877)

(図1A)

標本 KMPC-102432F、体長176.5 mm、和歌山県潮岬沖、水深120 m、2025年4月12日、釣り、

中村公一。

フサカサゴ科 Scorpaenidae

ヒオドシ *Pontinus macrocephalus* (Sauvage, 1882)

(図1B)

標本 2標本: KMPC-102401F、体長220.2 mm、KMPC-102415F、体長214.9 mm、和歌山県潮岬沖、水深210 m、2025年3月18日、釣り、大西 遼。

アヤメカサゴ *Sebastiscus albofasciatus* (Lacepède, 1802) (図1C)

標本 KMPC-102398F、体長98.7 mm、和歌山県潮岬沖、水深120 m、2025年3月1日、釣り、佐久間夢実; KMPC-102414F、体長217.0 mm、和歌山県潮岬沖、水深140 m、2025年3月18日、釣り、大西 遼。

ハナスズキ科 Liopropomatidae

ルリハタ *Aulacocephalus temminckii* Bleeker, 1855

(図1D)

標本 KMPC-102407F、体長228.3 mm、和歌山県潮岬沖、水深130 m、2025年3月1日、釣り、佐久間夢実。

ハナダイ科 Anthiadidae

アカイサキ *Caprodon schlegelii* (Günther, 1859)

(図1E)

標本 KMPC-102426F、体長229.1 mm、和歌山県潮岬沖、水深120 m、2025年4月12日、釣り、大西 遼。

バラハナダイ *Odontanthias katayamai* (Randall, Maugé & Plessis, 1979) (図1F)

標本 KMPC-102397F、体長95.4 mm、和歌山県潮岬沖、水深120 m、2025年3月1日、釣り、三寺紘矢; 4標本: KMPC-102403F、体長114.3 mm、KMPC-102411F、体長114.6 mm、KMPC-102416F、体長82.3 mm、KMPC-102417F、体長81.4 mm、和歌山県潮岬沖、水深120–130 m、2025年3月18日、釣り、大西 遼; KMPC-102419F、体長108.1 mm、和歌山県潮岬沖、水深130 m、2025年4月11日、釣り、大西 遼; KMPC-102421F、体長99.5 mm、和歌山県潮岬沖、水深130 m、2025年4月11日、釣り、大西 遼。

イッテンサクラダイ *Odontanthias unimaculatus* (Tanaka, 1917) (図1G)

標本 KMPC-102418F、体長98.6 mm、和歌山県潮岬沖、水深120 m、2025年4月11日、釣り、大西 遼; KMPC-102422F、体長113.3 mm、和歌山県潮岬沖、水深130 m、2025年4月12日、釣り、大西 遼。

アズマハナダイ *Zalanthias azumanus* (Jordan &

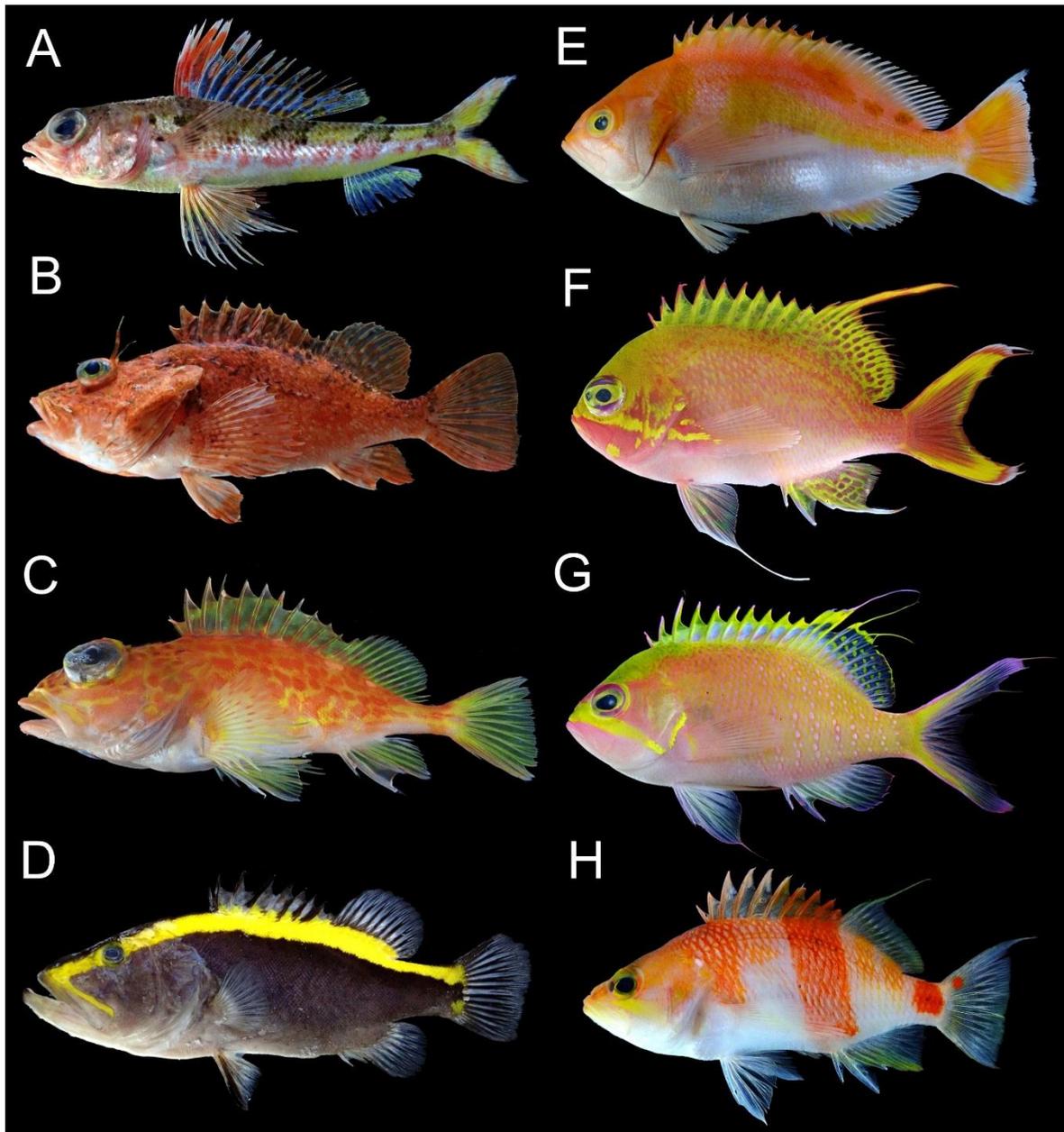


図 1. 和歌山県潮岬沖から得られた魚類。A : ヒメ *Himejaponica* (KMPC-102432F、体長 176.5 mm) ; B : ヒオドシ *Pontinus macrocephalus* (KMPC-102401F、体長 220.2 mm) ; C : アヤマカサゴ *Sebastiscus albofasciatus* (KMPC-102398F、体長 98.7 mm) ; D : ルリハタ *Aulacocephalus temminckii* (KMPC-102407F、体長 228.3 mm) ; E : アカイサキ *Caprodon schlegelii* (KMPC-102426F、体長 229.1 mm) ; F : バラハナダイ *Odontanthias katayamai* (KMPC-102397F、体長 95.4 mm) ; G : イッテンサクラダイ *Odontanthias unimaculatus* (KMPC-102418F、体長 98.6 mm) ; H : アズマハナダイ *Zalanthias azumanus* (KMPC-102406F、体長 84.7 mm)。

Richardson, 1910) (図 1H)

標本 3 標本 : KMPC-102406F、体長 84.7 mm、
KMPC-102412F、体長 98.2 mm、KMPC-102413F、
体長 99.4 mm、和歌山県潮岬沖、水深 120–130m、
2025 年 3 月 18 日、釣り、大西 遼・佐久間夢実・
仁科実優 ; KMPC-102420F、体長 90.6 mm 和歌山県

潮岬沖、水深 130 m、2025 年 4 月 11 日、釣り、大
西 遼。

アヤマイズハナダイ *Plectranthias maekawa* Wada,
Senou & Motomura, 2018 (図 2A)

標本 KMPC-102430F、体長 71.6 mm、和歌山県

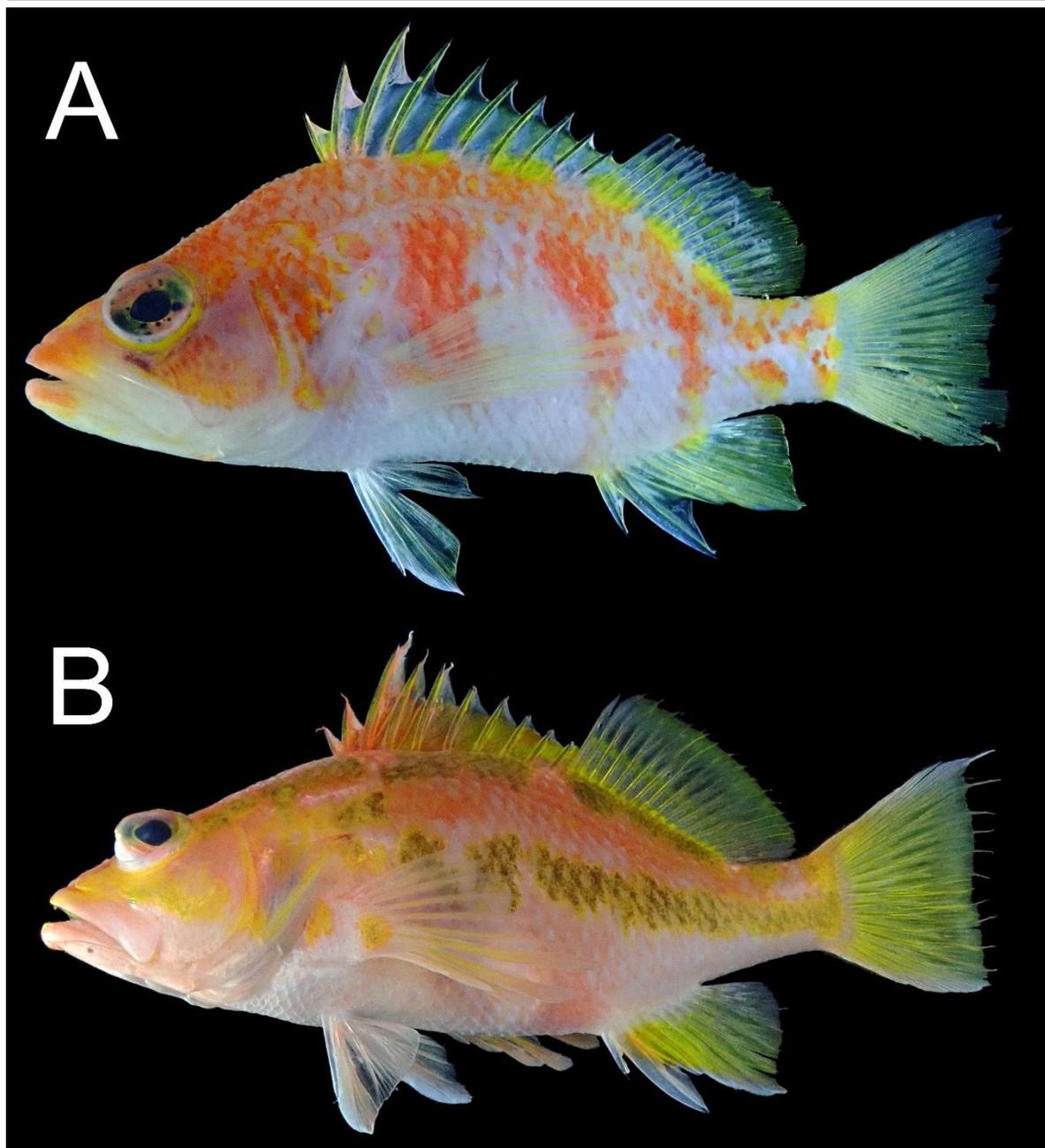


図 2. 和歌山県潮岬沖から得られた魚類。A : アヤメイズハナダイ *Plectranthias maekawa* (KMPC-102430F、体長 71.6 mm) ; B : キオビズハナダイ *Plectranthias sheni* (KMPC-102405F、体長 111.3 mm)。

潮岬沖、水深 120 m、2025 年 4 月 12 日、釣り、中村公一。

備考 本標本は、背鰭軟条数が 15、背鰭第 3 棘が最長であること、胸鰭条数が 14 で最上および最下部の 1 本を除き分岐すること、側線が完全で側線有孔鱗数が 29、側線上方横列鱗数が 3、側線下方横列鱗数が 12、前鰓蓋骨下縁に発達した 2 本の前向棘をもつこと、側線下方に橙赤色の 5 本の横帯をもつこと、側線下方に小黄色斑が散在すること、側線上方の体側鱗が赤橙色に縁どられること、

および頬部の鱗の大部分が白色で赤橙色の縁取りをもたないことなどの特徴が Wada et al. (2018) と和田ほか (2020) の示したアヤメイズハナダイ *P. maekawa* の特徴と一致したため、本種に同定された。

本種は日本からのみ記録されており、国内ではトカラ列島 (中之島、臥蛇島)、沖縄諸島 (沖縄島)、および八重山諸島 (与那国島) から記録されていた (Wada et al., 2018; 和田ほか, 2020)。本研究により新たに和歌山県潮岬沖から記録された。なお、こ

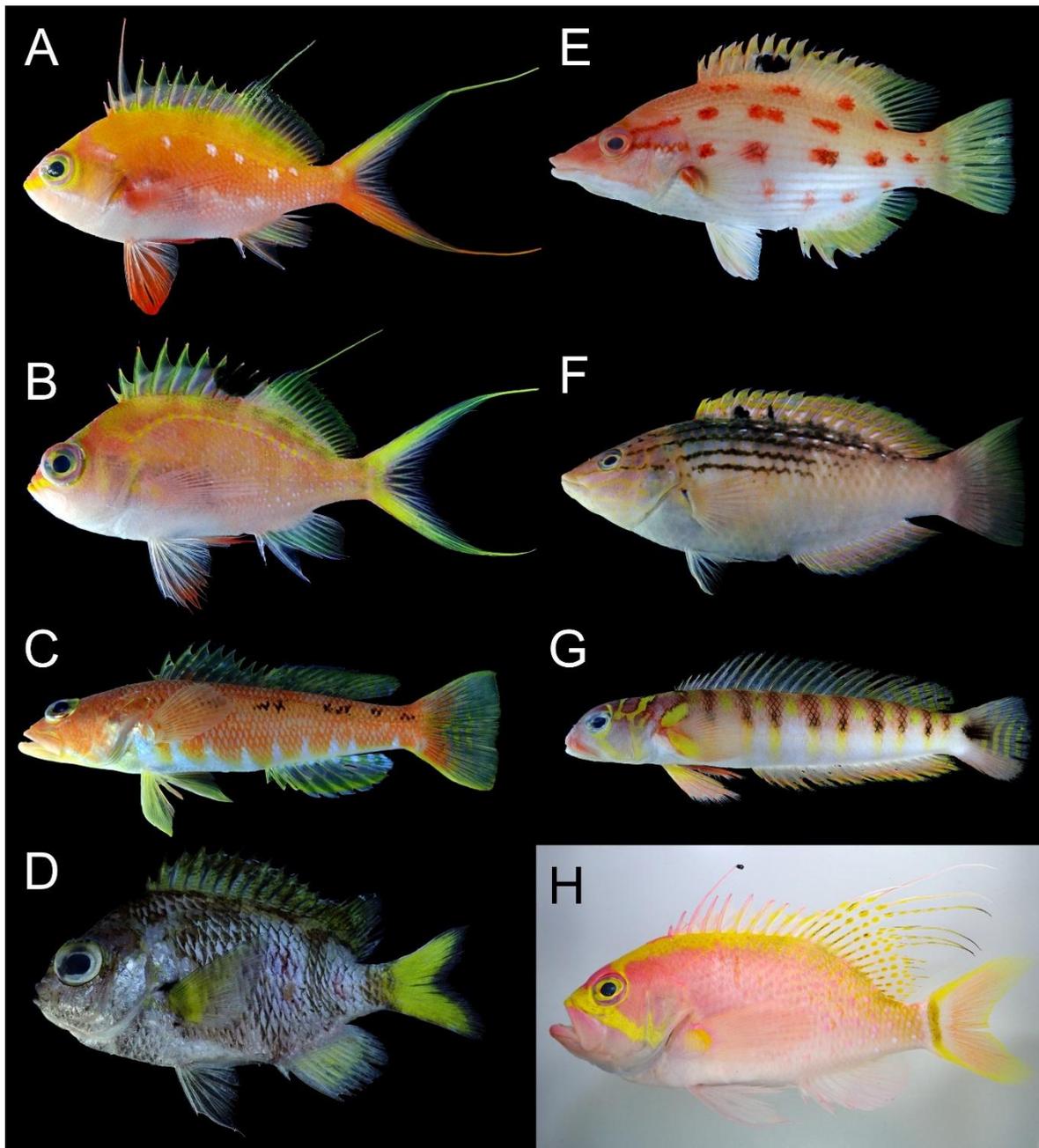


図3. 和歌山県潮岬沖から得られた魚類。A: サクラダイ♂*Sacura margaritacea* (KMPC-102423F、体長 115.4 mm) ; B: サクラダイ♀*Sacura margaritacea* (KMPC-102431F、体長 74.0 mm) ; C: ホシヒメコダイ *Chelidoperca pleurospilus* (KMPC-102404F、体長 125.2 mm) ; D: ゲッコウスズメダイ *Chromis tingting* (KMPC-102433F、体長 89.1 mm) ; E: キツネダイ *Bodianus oxycephalus* (KMPC-102427F、体長 140.0 mm) ; F: ホシササノハベラ *Pseudolabrus sieboldi* (KMPC-102424F、体長 120.8 mm) ; G: オキトラギス *Parapercis multifasciata* (KMPC-102435F、体長 118.9 mm) ; H: ボロサクラダイ *Odontanthias rhodopeplus* (KMPC-102367F、体長 152.9 mm)。

の記録は本種の本州初記録であり、分布の北限を更新する記録となる。

キオビイズハナダイ *Plectranthias sheni* Chen & Shao, 2002 (図2B)

標本 KMPC-102405F、体長 111.3 mm、和歌山県潮岬沖、水深 130 m、2025 年 3 月 18 日、釣り、佐久間夢実。

備考 本標本は、背鰭軟条数が 18、背鰭第 3 棘が最長であること、胸鰭軟条数が 13 で最上部の 1 本

を除き分岐すること、側線が完全で側線有孔鱗数が 31、側線上方横列鱗数が 4、側線下方横列鱗数が 13、頬鱗列数が 5、体背部の黄色斑が側線下方を大きく超えないこと、および体側中央部の黄色斑が連続することなどの特徴が Chen and Shao (2002) と藤原ほか (2017, 2019) の示したキオビズハナダイ *P. sheni* の特徴と一致したため、本種に同定された。

本種は日本と台湾から記録されており (Chen and Shao, 2002; 藤原ほか, 2017)、国内では伊豆大島、静岡県、草垣群島、鹿児島県本土、大隅諸島、および琉球列島から記録されていた (藤原ほか, 2017, 2019; 桜井, 2019; 松本ほか, 2022; 饗場・遠藤, 2024b)。本研究により新たに和歌山県潮岬沖から記録された。

サクラダイ *Sacura margaritacea* (Hilgendorf, 1879)
(図 3A, B)

標本 2 標本: KMPC-102399F、体長 89.6 mm、KMPC-102400F、体長 89.1 mm、和歌山県潮岬沖、水深 120 m、2025 年 3 月 1 日、釣り、大西 遼; KMPC-102423F、体長 115.4 mm、和歌山県潮岬沖、水深 130 m、2025 年 4 月 12 日、釣り、大西 遼; KMPC-102431F、体長 74.0 mm、和歌山県潮岬沖、水深 120 m、2025 年 4 月 21 日、釣り、金井一祥。

ヒメコダイ科 Serranidae

ホシヒメコダイ *Chelidoperca pleurospilus* (Günther, 1880) (図 3C)

標本 KMPC-102404F、体長 125.2 mm、和歌山県潮岬沖、水深 130 m、2025 年 3 月 18 日、釣り、大西 遼。

スズメダイ科 Pomacentridae

ゲッコウスズメダイ *Chromis tingting* Tea, Gill & Senou, 2019 (図 3D)

標本 KMPC-102433F、体長 89.1 mm、和歌山県潮岬沖、水深 120 m、2025 年 3 月 1 日、釣り、三寺紘矢。

ベラ科 Labridae

キツネダイ *Bodianus oxycephalus* (Bleeker, 1862)
(図 3E)

標本 KMPC-102402F、体長 189.4 mm、和歌山県潮岬沖、水深 130 m、2025 年 3 月 18 日、釣り、仁科実優; KMPC-102427F、体長 140.0 mm、和歌山県潮岬沖、水深 120 m、2025 年 4 月 12 日、釣り、大西 遼。

ホシササノハベラ *Pseudolabrus sieboldi* Mabuchi & Nakabo, 1997 (図 3F)

標本 KMPC-102424F、体長 120.8 mm、和歌山県潮岬沖、水深 110 m、2025 年 4 月 12 日、釣り、中村公一。

トラギス科 Pinguipedidae

オキトラギス *Parapercis multifasciata* Döderlein, 1884 (図 3G)

標本 KMPC-102435F、体長 118.9 mm、和歌山県潮岬沖、水深 120 m、2025 年 4 月 21 日、釣り、大西 遼。

2025 年の調査により和歌山県串本町の潮岬沖 (水深 110–220m) から 16 種の魚類が確認された。このうち、アヤマメズハナダイおよびキオビズハナダイは和歌山県初記録であった。さらにアヤマメズハナダイは本州初記録であり、分布の北限を更新する記録となった。

近年、本海域からはカマヒレウミヘビ

Ophichthus tomioi McCosker, 2010、ハレギエソ *Synodus lautus* Furuhashi & Motomura, 2025、エンビサクラダイ *Odontanthias randalli* White, 2011、ツキヒハナダイ *Symphysanodon typus* Bleeker, 1877、ゲッコウスズメダイ、ホムラトラギス *Parapercis randalli* Ho & Shao, 2010 などが新たに記録されている (饗場・遠藤, 2024a; 深谷ほか, 2024; 松尾ほか, 2024; Furuhashi and Motomura, 2025; 日比野ほか, 2025; 橘ほか, 2025)。このうちハレギエソは新種として記載され、カマヒレウミヘビとエンビサクラダイは日本初記録種として報告されている。また、本調査では採集されなかったが、過去には水族館での展示例が少ないボロサクラダイ *Odontanthias rhodopeplus* (Günther, 1872) (KMPC-102367F) など得られている (図 3H)。今後も本海域において継続的な調査を行うことで、和歌山県串本沖の魚類相のさらなる実態解明が期待される。

謝辞

串本海中公園センターの皆さまと同センター元実習生の三寺紘矢氏、仁科実優氏には標本の採集と作成、計測にご協力いただいた。以上の方々はこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 饗場空璃・遠藤広光. 2024a. 高知県と和歌山県から得られた北限記録を含むツキヒハナダイ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 40: 17–21.
- 饗場空璃・遠藤広光. 2024b. 静岡県から得られた北限記録のイズハナダイ属 2 種 (キオビズハナダイ, ユズノミハナダイ). *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 46: 15–20.
- Chen, J.-P. and K.-T. Shao. 2002. *Plectranthias sheni*, a new species and *P. kamii*, a new record of anthiine fishes (Perciformes: Serranidae) from Taiwan. *Zoological Studies*, 41: 63–68.
- 藤原恭司・宮本 圭・本村浩之. 2019. 与那国島から得られた沖縄県初記録のキオビズハナ

- ダイ. Nature of Kagoshima, 45: 255–257.
- 藤原恭司・田代郷国・高山真由美・瀬能 宏・本村浩之. 2017. ハタ科イヅハナダイ属魚類 *Plectranthias sheni* の日本からの記録と適用すべき標準和名の検討. 魚類学雑誌, 64: 121–129.
- 深谷真央・松尾 怜・和田英敏. 2024. トラギス科ホムラトラギスの紀伊半島と石垣島からの分布記録および標徴に関する新知見. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 48: 22–27.
- 福田照雄・小寺昌彦. 2019. 海中展望塔に集まる魚 40年間のまとめ. 串本海中公園マリンパビリオン, 8: 1–14.
- 福田照雄・御前 洋. 1992a. 串本海中公園センターで記録された魚 類一覧 (1). 串本海中公園マリンパビリオン, 21: 26–29.
- 福田照雄・御前 洋. 1992b. 串本海中公園センターで記録された魚 類一覧 (2). 串本海中公園マリンパビリオン, 21: 32–33.
- Furuhashi, R. and H. Motomura. 2025. A new species of *Synodus* from southern Japan, with a redescription of *Synodus usitatus* Cressey 1981 (Teleostei: Aulopiformes: Synodontidae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-025-01025-y (16 May 2025), 73: 92–106.
- 日比野友亮・平井隆之・川端秀樹・宮崎佑介. 2025. 和歌山県から得られた日本初記録の *Ophichthus tomioi* カマヒレウミヘビ (新称) (ウナギ目ウミヘビ科). Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 55: 72–76.
- 松本達也・中村潤平・本村浩之. 2022. 薩摩半島南岸から得られた九州初記録となるハナダイ科ハナダイ亜科魚類 4 種 (バラハナダイ・イッテンサクラダイ・キオビイヅハナダイ・フジナハナダイ). Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 27: 74–86.
- 松尾 怜・伊豫巧朗・James Maclaine・木村清志. 2024. 紀伊半島南部から得られた日本初記録のハナダイ科魚類 *Odontanthias randalli* エンビサクラダイ (新称). 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jji.24-027 (Sept. 2024), 71: 207–213.
- 本村浩之. 2026. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. Online ver. 36. <https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html>
- 中坊徹次 (編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定, 第 3 版. 1–3 巻. 東海大学出版会, 秦野. xlix + 2428 pp.
- 中坊徹次・中山耕至. 2013. 魚類解説, pp. 3–30. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定. 第 3 版. 東海大学出版会, 秦野.
- 大西 遼. 2024. 串本海中公園センターで記録された魚類. 串本海中公園マリンパビリオン, 15: 1–24.
- 大西 遼. 2025. 潮岬沖における深海性魚類の採集の試み. 串本海中公園マリンパビリオン, 54: 14.
- 桜井 雄. 2019. ハタ科 Serranidae (ハナダイ亜科 Anthiadinæ). pp. 98–103. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典 (編). 奄美群島の魚類図鑑. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
- 橘 皆希・津野義大・松永 翼・饗場空璃・遠藤広光. 2025. 高知県と和歌山県から得られたゲッコウスズメダイの標本に基づく記録. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 60: 4–10.
- Tea, Y.-K., A. C. Gill and H. Senou. 2019. *Chromis tingting*, a new species of damselfish from mesophotic coral ecosystems of southern Japan, with notes on *C. mirationis* Tanaka (Teleostei: Pomacentridae). Zootaxa, 4586: 249–260.
- 和田英敏・福地伊芙映・宮本 圭・立原一憲・本村浩之. 2020. 沖縄県初記録のアヤメイヅハナダイ (ハタ科ハナダイ亜科) および本種の標徴に関する再評価. タクサ, 49: 67–73.
- Wada, H., Senou, H. and Motomura, H. 2018. *Plectranthias maekawa*, a new species of perchlet from the Tokara Islands, Kagoshima, Japan, with a review of Japanese records of *P. wheeleri* (Serranidae: Anthiadinæ). Ichthyological Research, <https://doi.org/10.1007/s10228-0180674-z> (also appeared in Ichthyological Research, 66: 269–279).

マリンパビリオン 特別号 No.17

発行日 令和 8 年 3 月 9 日

編集兼発行人

〒649-3514 和歌山県東牟婁郡串本町有田 1157

(株) 串本海中公園センター

電話&FAX 0735-62-4875

ホームページ <http://www.kushimoto.co.jp/>

(本誌は上記からも無料配信中)